創立134年 鳳祭 彩葉

～ 紡ぐ軌跡 ～

← 萌芽 ← 最輝

◀ 勢ぞろいした実行委員

創立134年鳳祭が10月31日（木）から11月3日（日）まで、生田キャンパスで開催される。

今年のメインテーマは「彩葉～紡ぐ軌跡～」。東日本大震災からの再起を誓いメインテーマを「最輝」とした2011年から昨年の「萌芽」を経て、今年は「個性豊かな葉を育てていきたいという思いを込めた」と後藤雅也実行委員長（経済3）は説明する。

今年らしさは四つの改革に表れている。一つは神田キャンパスで学ぶ法学部の学生が実行委員として活動しやすい態勢を整えたこと。週1回の全体ミーティング以外は神田で装飾物を製作する新しい部署を設置。完成した作品は神田鳳祭でも展示するなど、交流の輪を広げた。

長年の懸案だったパンフレットのオールカラー化も実現。ミス専修・ミスター専修コンテストでは初めて出場者5人のプロモーションビデオが製作され、ユーチューブで視聴できるように。出場者の人柄にふれられる機会を増やし、透明で公正な投票につなげる狙いがある。

もう一つはエコへの取り組みの強化。使用後に表面のフィルムを剥がせば洗浄なしにリサイクルできる容器を、食品を提供するすべての模擬店に導入。分別と送料負担がネックだった割りばしリサイクルから切り替えた。「どれも1年次生の提案から生まれたもの。コストを抑えたままSNSで新たな取引先を見つけてくれました」（後藤委員長）。

実行委員約100人のうち1年次生は70人、その半数を女子が占める。〝女子力〟効果で装飾物のデザイン性は飛躍的に向上した。例年にない色遣いやレイアウトに注目あれ。

◇前夜祭

気分上笑!!　～show time の幕開け～

ゲスト：エルシャラカーニ
・10月31日（木）16：00開演・４号館前特設ステージ
　お笑いライブとゲーム企画。
※前夜祭に先立ち、開催式（10：30～、４号館前特設ステージ）、鳳祭実行委員会と連合県人会の有志によるオープニングパレード（本学～向ヶ丘遊園駅間。11：00ごろ出発。雨天中止）を実施。

◇第３回ミスター専修コンテスト

凌駕　～Nobody beats me～

ゲスト：弾丸ジャッキー
・11月１日（金）14：00開演・10301教室

◇トークショー

ゲスト：玉木宏
・11月２日（土）11:30開演・10301教室（チケット完売）

◇第13回ミス専修コンテスト

Flower　～百花繚乱～

ゲスト：オジンオズボーン
・11月３日（日）13：00開演・10301教室

◇LIVE STAGE

・11月１日（金）13：15～・第一体育館
・11月２日（土）11：00～・４号館前特設ステージ
　学内外のバンドが出演。

◇ゲーム企画・大型企画

11月１（金）～３日（日）には連合県人会による「チロリン村」（正門前駐車場）、育友会の「お休み処・育友」（10号館）をはじめサークルなどが主催の模擬店、国際交流会 SHIP の「世界を食べよう」（正門前広場）や協賛企業が出店。２、３の両日にはゲーム板「Fanta STICK」とスタンプラリー（いずれも12：00～、10号館）が行われる。

◆ホームページ　http://www.ohtori-senshu.com/
◆ミスター・ミス専修コンテスト2013
公式 Twitter　https://twitter.com/ohtoriwebtai
※出場者の動画を鳳祭ＨＰで公開中（youtube からも視聴できます）
◆Ｅメール　ohtori_festival@hotmail.com
◆電話（FAX 兼用）　044・900・7830　鳳祭実行委員会

たまたま子育てまつりに協力

親子で参加するイベント「たまたま子育てまつり」（主催・同実行委員会と川崎市、川崎市教育委員会）が９月15日、多摩区総合庁舎で開かれ、本学から吉田弘道人間科学部教授をはじめ心理教育相談室のカウンセラーら５人が協力、「子育てで疲れた心をひと休み」をテーマに個別相談に応じた。また「親と子のコラージュ体験」（絵や写真を台紙に張り、自分のイメージ作品を作る）などで癒やしの時間をプロデュースした。

同まつりは、多摩区の団体、企業、商店、行政などが参加し、さまざまな催しを通して、子育ての応援をする。当日は大型台風が襲来する荒天にもかかわらず、多くの親子が来場した。

第14回育友会奨励賞募集中

育友会奨励賞は、専修大学の一部に在学する学部学生の学生生活を活性化し、支援するための事業です。専修大学が掲げる21世紀ビジョンに沿った主体的な行動や成果に対し、賞金をもって表彰いたします。在学中の創造的な取り組みに対する行動や成果を、本文500字程度にまとめて応募ください。

※締め切り・10月21日（月）。詳しくは育友会のホームページをご覧ください。

（育友会事務局）

外国語のススメ　LL研究室 ―●23●―

英語

櫻井　文子　経営学部講師

午後の紅茶の裏側

▲　パンの実

唐突だが、パンの実というものを食べたことがあるだろうか。

私が初めてパンの実を食べたのは、かれこれ10年近く前、カリブ海の島国ジャマイカでのことだった。その頃住んでいた家には広い庭があって、うれしいことにマンゴーやオクラ、アーモンドと、食べられる実がなる植物がたくさん植えられていた。母屋の裏手で、ヤツデに似た葉を茂らせていたのがパンの木だった。発見したのはちょうど冬の頃、つまりパンの実の旬で、枝にはメロンほどの大きさの実がいくつもぶら下がっていた。大喜びで実を収穫した私は、オーブンでローストすること30分。ほこほこと湯気の立つ白い果肉を切り分けて、一口食べた感想は「えっ、パンじゃない･･･！」

めくるめく味覚体験を予期していた私には、なんとも肩すかしな味だった。メロンに似た実だったので、何の根拠もなしに、メロンパンみたいにフカフカで甘いのでは、と予想していたのだ。ところが実際はというと、味の抜けたサツマイモ。塩を振れば普通に食べられるが、地味で、単調で。南国のフルーツといえば、マンゴーやパパイア、ドリアンやグアバのように、華やかで濃厚な味わいを想像しがちだが、そんなきらびやかな期待を見事に裏切る、淡白でモソモソとした味だった。

そのような、ある意味印象的な出合いを果たしたパンの実だが、少し見方を変えると、その味わいは何とも甘くも苦くもなる。お砂糖を作る黒人奴隷のご飯だったからだ。

※全文はＬＬ研究室ホームページで

緑地帯

同世代の仲間を作ろう

先日、2020年オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決まりました。経済効果もさることながら、子どもや若い人たちが将来に夢や希望を持つこと、被災地の復興に弾みがつくことが期待されます。専修大学は全国の大学に先駆けて東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会および東京都と大学連携協定を締結しており、「人間教育と国際交流を通じて世界平和に貢献」を理念に活動を行ってきました。開催地が東京に決まったことで、スポーツを通した人間教育や国際交流がますます活発になると期待しています。

さて、大学ではクラブやサークル活動などでスポーツに取り組んでいる学生も大勢います。私も学生時代はクラブ活動でスポーツをしていました。夏の暑い時期にハードな練習をしたことや最後の試合は今でもよく覚えています。今振り返るとよくやっていたなと思いますが、かけがえのないものが得られました。体力だけでなく、精神面も鍛えられたと思いますし、その時に出会った仲間とは今でも交流が続いており、私の大きな財産になっています。

学生にとって大学は多くの同世代の若者が集まる大切な場所です。学業やクラブ活動などを通じて、より多くの仲間を作ってほしいと思います。同世代の人ならそれほど気も使わずにすむでしょうし、比較的話も合うと思います。長くつきあえる友人をたくさん見つけて何十年か後に学生時代を楽しく振り返られるような、充実した学生生活を送ってほしいと思います。

（学生部）

キャンパス情報

〈学生生活課〉
護身術講習会
痴漢や性犯罪に巻き込まれた時の対処法を学ぶ。
▽日時＝10月17日（木）12時20分～▽場所＝生田キャンパス４号館411教室▽指導＝川崎市多摩警察署
※申し込み不要。当日、直接会場へ。
問学生生活課☎044・911・1267

漫画研究同好会

夢の中ならなんとでも　加藤晴秋（ネット情報2）